

平成21年度第4回林野庁入札等監視委員会 審議概要

開催日及び場所		平成22年2月26日(金曜日)林野庁会議室			
委員		栗田 誠(大学教授) 小竹 忠(公認会計士) 井原 俊一(ジャーナリスト)			
審議対象期間		平成21年10月1日～平成21年12月31日			
審議対象案件		51件	うち、1者応札案件12件 契約の相手方が公益社団法人等の案件5件		
抽出案件		7件 (抽出率14%)	うち、1者応札案件1件 (抽出率8%) 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件 (抽出率0%)		
抽出案件内訳	工事	一般競争	1件	うち、1者応札案 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件	
		指名競争	公募型指名競争	1件	うち、1者応札案 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
			工事希望型競争	1件	うち、1者応札案 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
			その他の指名競争	1件	うち、1者応札案 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
		随意契約	1件	うち、1者応札案 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件	
	業務	一般競争	1件	うち、1者応札案 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件	
		指名競争	公募型競争	1件	うち、1者応札案 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
			簡易公募型競争	1件	うち、1者応札案 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
			その他の指名競争	1件	うち、1者応札案 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
		随意契約	公募型プロポーザル	1件	うち、1者応札案 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
			簡易公募型プロポーザル	1件	うち、1者応札案 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
			標準型プロポーザル	1件	うち、1者応札案 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
			その他の随意契約	1件	うち、1者応札案 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
		物品・役務等	一般競争	6件	うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件
			指名競争	1件	うち、1者応札案 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
	随意契約(企画競争・公募)		1件	うち、1者応札案件0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件	
	随意契約(その他)		0件	うち、1者応札案 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件	
	(特記事項) ・抽出の7件については、1者応札や改札率の高かったも・低かったものなどを抽出した。				
	委員からの意見・質問、それに対する回答等		意見・質問		
			回答等		
		(詳細に記述すること。)			
		(詳細に記述すること。)			
		(別紙のとおり)			
		(別紙のとおり)			
委員会による意見の具申又は勧告の内容		該当なし			
[これらに対し部局長が講じた措置]		<div style="display: flex; justify-content: space-around; width: 100%;"> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px;"></div> </div>			

事務局:林野庁林政部林政課会計経理第1班

(注)公益社団法人等とは、公益社団法人又は公益財団法人(一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第42条第1項に規定する特例社団法人又は特例財団法人を含む。)をいう。

(別紙)

平成21年度第4回林野庁入札等監視委員会審議概要

	意見・質問	回答
委員からの意見 ・質問、それに対する回答等	<p>物品・役務関係</p> <p>〔抽出番号1：平成21年度森林の土壌崩壊・流出防止等機能を反映させた山地災害による被害想定区域設定手法検討調査〕</p> <ul style="list-style-type: none">・予定価格はどのように設定しているのか。・落札率が100%となった理由はなにか。・当該事業は単年度事業と理解してよいか。・契約金額は限度額契約と理解してよいか。・総合評価落札方式の際の価格点への配分は何点か。 <p>現マニュアルの作成はいつなのか。</p> <ul style="list-style-type: none">・マニュアルは全省庁の統一されているものなのか。・採点表の中に「仕様書に示した内容以外の独自の提案がされているか。」とあるが、どのような主旨なのか。	<ul style="list-style-type: none">・マニュアルに基づき、見積もりを参考に予定価格を設定している。・当庁の予定価格と総合評価点の最も高かった者との見積りが一致したため。・そのとおり。・限度額での契約であり、限度額の範囲内で事業実施に要した実費用分を支出することになる。・マニュアルに基づく範囲内において事業ごとに設定している。・平成19年2月である。・他省庁については把握していないが、当省内での統一のマニュアルである。・仕様書に示した必要項目以外にさらに良い提案内容の有無等を判断するためのものである。
	<p>〔抽出番号2：雇用力・生産力・地域力・教育力の一体的連携強化による山村活性化に関する調査〕</p> <ul style="list-style-type: none">・総合評価の際の価格点への配分は何点か。・総合評価の場合の、価格点と技術点の配分はどのような考え方に基づいているのか。・予定価格はどのように設定したのか。・落札率がかなり低いことについて、どのような要因が考えられるか。・予定価格の積算と落札者の事業計画の支出とで、大きく違うのはどの項目か。・事業実施期間が短期間であるが、適切な実施が確保されるのか。 <p>・仕様書の事業内容に「浜松市が設置</p>	<ul style="list-style-type: none">・当該事業は調査事業であるため、価格点は50点、技術点は100点である。・価格点と技術点の配分については、マニュアルにより研究開発、調査事業、広報事業ごとの配分比率が定められているところである。・マニュアルに基づき、見積もりを参考に予定価格を設定している。・落札率については、短期の事業期間であったため、人件費等の見積もりが安価になったのではないかと推測する。・全体的に低くなっている。・事業期間については、適切な確保に努めているところ、当該事業は他省よりの移し替え予算であり、事務手続に時間を要したことから事業期間が短くなったものであるが、期間内に事業は完了できると判断している。・当該事業は、地方自治体が国に要

<p>する調査委委員会とも連携を図り進行管理を行う。」とはどのような主旨か。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査報告書の活用方はどうなるのか。 	<p>望し関係省庁が予算要求・執行する仕組みであり、浜松市の提案が採用されたものである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データベース化しアウトプットしていく考えである。
<p>〔抽出番号3：森林官制服〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・詳細な仕様書となっているが、他省庁でも採用されているものか、それとも当庁において定めているものなのか。 ・今回の落札業者は契約書の記載のとおり、国内生産ということによいか。 ・縫製については、国内に限定しているのか。 ・契約先の会社は何を行っているところか。また、自ら縫製等を行っているのか。 ・サイズが細かく設定されているが、これはどういうことか。 ・制服は毎年調達しているのか、また、これまでの受注業者はどのようなところか。 ・予定価格の設定はどのように設定しているのか。 ・落札率が極めて高いが、どのような要因が考えられるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他省庁の仕様書については把握していないが、当庁の過去における入札仕様書において、業者より不明確との意見があり、現在の仕様に至っているところである。 ・そのとおり。 ・限定はしていない。 ・縫製工場の事業者登録はなく、製品の取扱業者が主に応札を行っている。 ・上衣とズボンそれぞれ基本サイズがあり、基本サイズにあわない者の場合特別仕様となる。 ・毎年調達しているところであり、過去の受注業者のリストが手元にないが、昨年度も本年度と同じ業者であった。 ・予定価格の設定については、各項目毎に積算を行い、予定価格を設定している。 ・落札率については、前年度に対し人件費が3.7%低下しているが、落札者の見積もりでは対前年度で同等の見積りとなっていることから高い落札率になったものと考ええる。
<p>〔抽出番号4：貨客兼用自動車 (1800～2000)〕</p> <p>〔抽出番号5：貨客兼用自動車 (1500～1600)〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕様を満たす車はどれくらいあるのか。参加状況からみて、トヨタ等には仕様を満たす車種がないということか。 ・予定価格の設定はどのように設定しているのか。 ・全国をまとめて調達するメリットはあるのか。 ・入札公告は両案件とも一括で行っているのか。 ・2案件を一括で契約できないものなのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現場使用の車であり、急傾斜地や林道等のアフロ地を走行することから最低地上高や馬力がある程度必要であり、現地状況に合致した車種を仕様としていることから、市街地走行車に比較すると仕様を満たす車種が少なくなっている。4号案件では2車種となっており、トヨタ車は該当していない。5号案件では2車種あり、2者の応札予定であったが、当日の入札時間に遅れたため、結果的に1者となったものである。 ・マニュアルに基づき設定している。 ・一括調達を実施することにより、価格、事務の軽減が図られると考えている。 ・そのとおり。 ・対象となる車種が異なることから、両案件を一括で入札を行うと、応札